


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役  
橋本 健一郎



4月のアルミ概況および5月の見通し (3)

## 予想レンジ

LME現物後場買い	2,400-2,600ドル	●
スクラップ	+5円~+10円(前月最終価格より)	●
為替	150円~158円	円安
(1か月間TTM)		

## ■国内概況まとめ

## 【自動車生産】

生産動態統計によると3月の自動車生産台数は前年比-17.8%の67万7,823台。輸出は前年同月比-8.3%の33万868台。

## 【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると4月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-5.7%の20万7,536台。

## 【住宅着工戸数】

3月の新設住宅着工は、貸家、持家及び分譲住宅ともに減少したため、全体で前年同月比12.8%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比4.4%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は64,265戸。前年同月比12.8%減、10か月連続の減少。

○新設住宅着工床面積は4,848千㎡。前年同月比12.9%減、14か月連続の減少。

○季節調整済年率換算値では760千戸。前月比4.4%減、3か月連続の減少

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-13.7%の13万9,593tで1か月ぶりマイナス。

板類は8万7,099tで-15.9%の1か月ぶりマイナス。  
押出類は5万2,494tで-9.7%の27か月連続マイナス。

## 【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比は-4.2%の6万276tで4か月ぶりマイナス。  
出荷は-5.6%の6万949tで3か月連続マイナス。

## 【輸出】

新地金は+21.7%の325t。  
二次合金は-38.3%の776t。  
スクラップは+15.1%の3万6,832t。  
アルミ缶は-9.3%の6,830t。

## 【輸入】

新地金は-39.4%の5万4,569t。  
二次合金は+3.2%の8万1,299t。  
スクラップは-30%の417t。  
合金スクラップは-20.7%の6,858t。

## 【見通し】

## 【自動車】

3月の自動車生産が-17.8%。3月国内販売台数が前年比-5.7%で4か月連続減少。前月に続きダイハツ、トヨタ問題による生産販売低迷。来月以降回復との予想。

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-13.7%の13万9,593tで1か月ぶりマイナス。

中国景気回復?によるスマホ需要からか?か来月に期待薄。

## 【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比は-4.2%の6万276tで4か月ぶりマイナス。  
出荷は-5.6%の6万949tで3か月連続マイナス。  
トヨタ、ダイハツ不正問題の影響が収まり来月以降に期待。

## 【スクラップ景況予想】

流通(一次同屋)在庫は前月に続きLME価格が2,300から2,500ドル台と上昇傾向だった。ダイハツ、トヨタ問題の影響も収まり需要が回復、在庫薄。需要面に関しては、前月から更にダイハツ、トヨタ問題や中国の買いから需要回復、需給が引き締まりだした。

## 【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

## ①米FRBの金融政策

FRBは6会合連続で政策金利を据え置いた。パウエル議長は「次の政策金利の変更が利上げになる可能性は低い」とハト派的な姿勢も示したことから年内利下げ期待が台頭した。今後は利下げも意識した展開になるのではないかと。

## ②日銀の金融政策

ドル円が160円を付けた状態で介入があったとの見解や再び155円台で2回目の介入があったとの見解。また岸田首相と日銀の植田総裁が会談し、「密接な連携」を確認したことから150-155円でのレンジ内に動きになるのではないかと。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は2,400-2,600ドル(セツル)との予想。

ドル円値は150円~158円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては+5円から+10円程度と予想している。

(「4月のアルミ概況および5月の見通し」おわり)

アルミニウム地金

アルミニウム原料

熟練ポット炉技術で歩留まりUP!

井関金属株式会社

代表取締役 柳 一 根

〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407

☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667